

「人口減少時代における地方都市の再生に関する調査」

【イントロダクション】

わが国全体の人口が減少に転じる中、中国地域においても、政令指定都市である広島市、岡山市の人口は当面増加・維持となる見通しながら、それ以下の規模の都市は今後、本格的な人口減少と、高齢者人口の増加に見舞われることが確実視されております。地域のこうした環境変化に伴って、都市中心部の空洞化の進展、郊外住宅団地の空洞化・老朽化などさまざまな課題の発生が懸念されています。

そこで本調査では、中国地域の人口 10～50 万人規模の都市に着目し、各都市の将来的な人口動態を踏まえて類型化を行い、それぞれの都市タイプが直面する課題とその解決策について整理を行いました。そのうえで、全国他地域の都市における先進的な取り組みの分析を通じて、中国地域における地方都市再生のあり方について考察を試みております。

【本調査の構成】

- 第 1 章 人口減少によって地方都市に生じる課題
- 第 2 章 中国地域における都市の動向
- 第 3 章 都心部、郊外における諸課題の解決のあり方
- 第 4 章 中国地域におけるサステナブルな都市のあり方について

2010 年 7 月

株式会社日本政策投資銀行中国支店

* 本調査は、中国経済連合会様と共同で行ったものです。